

2018-01 2018.01.16

2018年1月 議事録

平成30年1月16日 AM10:00~12:00 (火) 東児童館調理室

出席者：山口、長澤、長澤、神田、川崎、半田、山田、笹澤、鈴木

配布資料；笹澤さんより 会議メモ 平成29年春に開催された真瀬地域の「模擬訓練の流れ」

山口さんより「きずなネットワーク」の現段階最終原稿 「きずなネットワーク運営協議会会則」(案)

長澤さんより「きずなネットワーク運営協議会会則」(案)

議題

1. 認知症声かけ訓練について

2. きずなネットワーク運営協議会会則・構成について

1. 認知症声かけ訓練について

・今回は考えられる限り手当をしての区長さん or 代理人の出席を願ったが稻荷前1・2区は出席を得られなかった。

・この訓練においてのこちらにとってのリスク＆メリットを喧々諤々尽くしてみたが、本日の出席者にとっては、主催者側へいくつかの質問・確認をしたのちにその点がクリアできたら断る理由が無い。

⇒決して地域社会がまとまっている地域ではない。故に準備段階での困難・結果の失敗が考えられるが、その点の了承はあるのか？

⇒書類を作成してあとはよろしく のパターンではないのか？

これらのこと 1月19日の説明会で 笹澤&山田が聞いてくる。納得したら GO

2. きずなネットワーク運営協議会会則・構成について

・事前に長澤さんから会則案が各戸に配布され皆読んできた。

・本日山口さんからさらに修正を加えられた会則案が配られた。

@主に役員及び任務についての項目に以下のような意見が出た。

山田さんから「まだ、会則の必要な団体とは思えない。これから実活動に伴い各人温めておいてしかるべき時期に文書化してもいいのでは？」

長澤さんから「ボランティアでも基盤のない組織、団体ではなんでもOK。なし崩しになってしまふ。」

山口さんからは「自分はHP担当。渉外の得意な長澤さんを副会長に」

長澤さんから「副会長はそんなに何人もいらない。自分は渉外にしてほしい」

⇒この件も対外的に関与のある（予算の出る）社協に予算をもらうにはどの程度組織づくりをしたらよいのか？を1月19日に確認の後 来月の会議にて報告。それから協議することになった。

次回は2月20日（火）AM10:00～児童館調理室にて